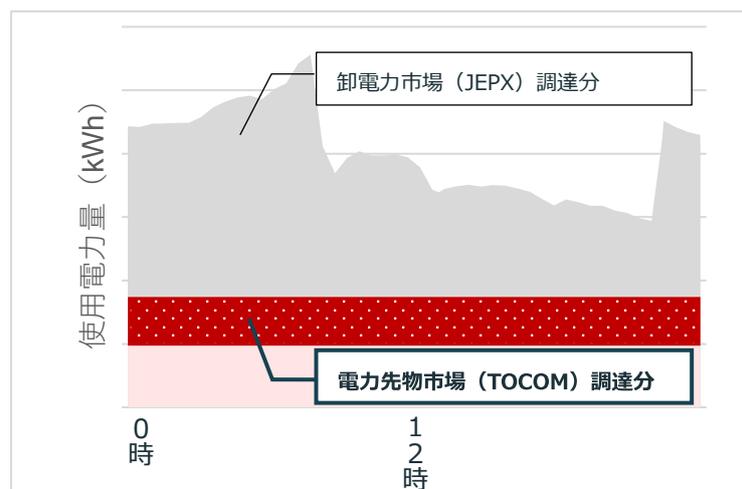


## 【病院経営の電力コスト削減へ】電力の先物取引を活用 日本赤十字社医療センターに新たな電力調達法を提供

デジタルグリッド株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:豊田祐介、以下「当社」)は、電力を使う「需要家」が、**電力の先物取引市場を活用することでコストを抑えられる**新たな調達方法の導入を進めています\*<sup>1</sup>。日本赤十字社医療センター(東京都渋谷区)における2026年度分の電力調達につきまして、東京商品取引所(TOCOM)の電力先物市場を活用し供給します。



当社は日本赤十字社医療センターの希望に応じて「常時使用する電力」や「需要が高まる時間帯の一部の電力」をあらかじめ価格を固定して調達します。さらに「デジタルグリッドプラットフォーム」(以下「DGP」)\*<sup>2</sup>を通じて、電力料金の変動を抑えた供給を実現しました。



\*<sup>1</sup> 参考: 2025年12月1日発表「先物取引の活用で新たな電力調達を開始 高田製薬株式会社

\*<sup>2</sup> 電力を生む「発電家」と電力を買う「需要家」が直接取引できる当社のプラットフォーム。

2025年7月末時点で、1400以上の発電家と3400以上の需要家の各拠点をつないでいます。



## 背景

病院等の医療機関は 24 時間体制での診療や医療機器を常時稼働させる必要があり、大量の電力を消費します。病院経営が一層厳しさを増す中、電力価格の変動は喫緊の課題となっており、日本赤十字社医療センターは 2025 年より DGP を利用してコスト削減、電力の安定調達につなげています。

### デジタルグリッド の ポイント

2025 年 12 月に始めた新たな電力の調達方法は、電力を使う「需要家」が希望価格を指定し電力を調達することで、需要家にとって

- ◇ 調達コストの削減
  - ◇ 電気料金変動リスクの低減
  - ◇ 与信調査数の減少など調達プロセスの効率化 などのメリットを実現。
- ➡日本赤十字社医療センターもさらなるコスト削減、電力の安定調達につながることを期待されています。

当社は今後も多様なサービスを提供し、お客様がコストや脱炭素方針に応じた電力調達を選択できるよう支援してまいります。

## 会社概要

▶令和 7 年度 気候変動アクション環境大臣賞 ▶令和 6 年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017 年 10 月 資本金：1,139 百万円 従業員数：88 名（2025 年 12 月現在）

所在地：東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供